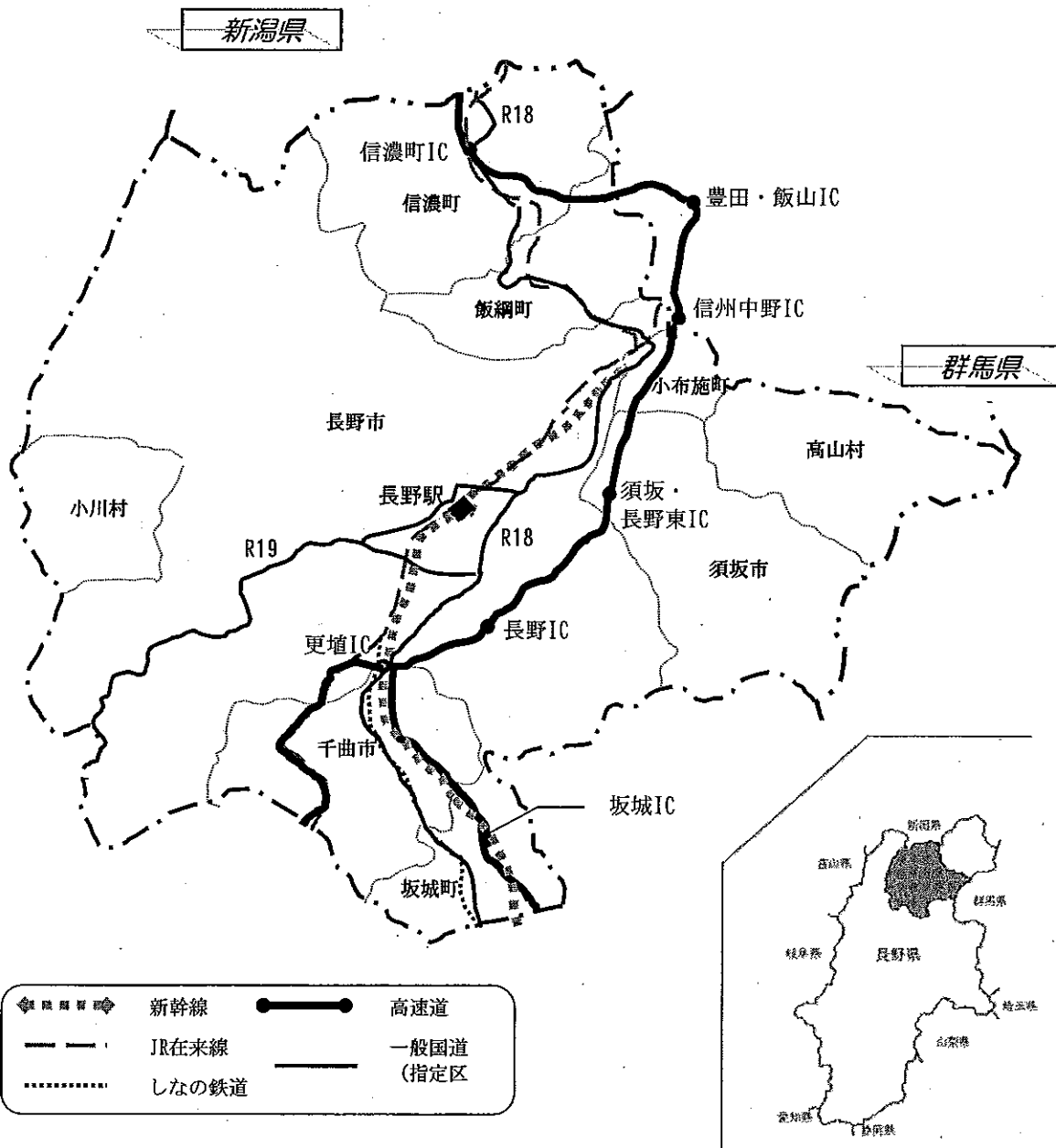


長野地域の概況

長野地方事務所

1 地 勢

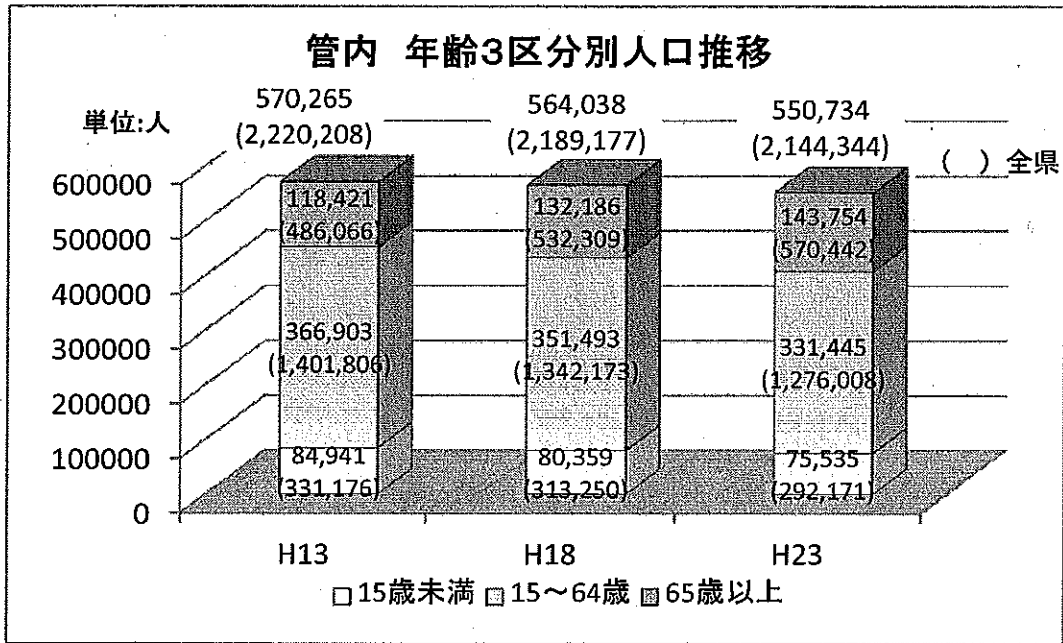
- ・長野地域は、長野県の北部に位置し、3市4町2村から構成されています。
- ・東西約56 km、南北約50 kmにわたり、総面積は1,558 km²で県全体の11.5%を占め、そのうち森林面積が1,012 km²と全体の64.9%を、耕地面積は179 km²で全体の11.5%を占めています。
- ・中央部は千曲川の流域に開けた平坦な善光寺平地域と、その周辺を囲む山間部地域に大別され、北東部には上信越高原国立公園、南部には聖山高原県立公園の豊かな自然が広がっています。
- ・気候は多様であり、北部の豪雪地帯から南部の少雨地帯まで、地域内で大きく異なる気候条件となっています。



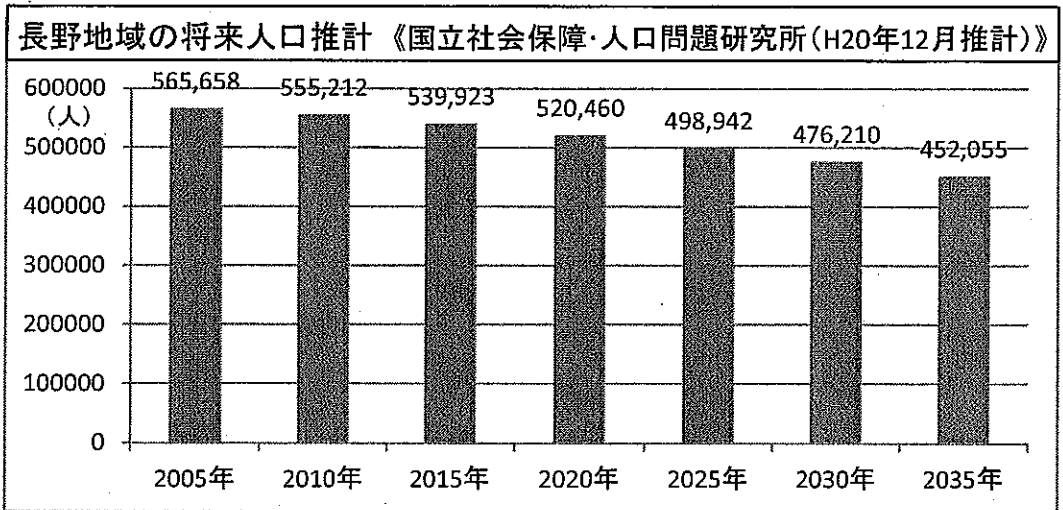
2 人 口

【人口構造】

- ・管内の人口は、平成22年10月1日現在554,256人（H22国勢調査）で、県人口の25.8%を占めており、平成17年10月1日現在（国勢調査）と比較すると、管内全体では11,402人（2.0%）の減となっています。
- ・年齢3区分別人口の推移からは、年少人口、生産年齢人口が減少する半面、高齢者人口は増加を続けています。

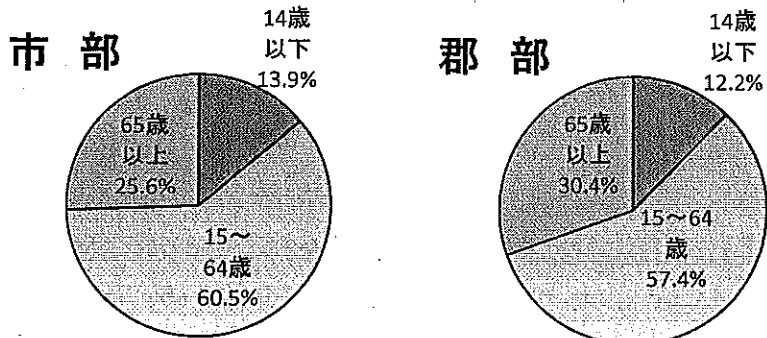


注）総数には年齢不詳を含む。資料：県情報統計課毎月人口移動調査（各年10.1現在）



【高齢化の状況】

・管内の高齢化率は26.1%となっており、県平均（26.6%）よりも低くなっていますが、郡部では30.4%と、県平均を上回っています。



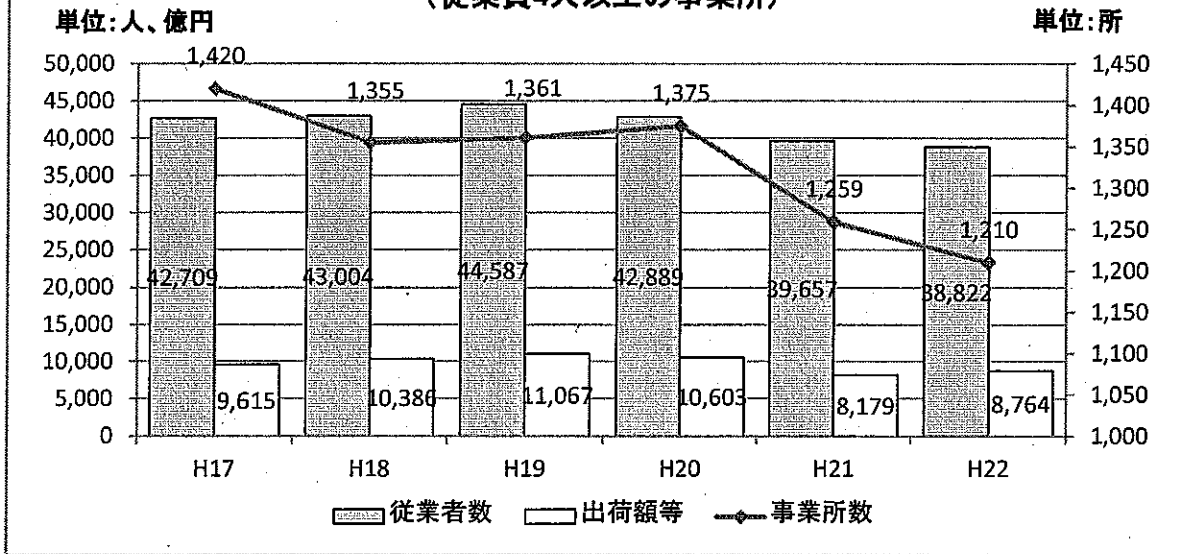
資料：県情報統計課毎月人口移動調査（H23.10.1現在）

3 産 業

【工業】

- ・長野地域は、独自製品を保有する中核企業、高度な基盤技術を有する中小企業等が多数存在しています。長野市は電子・情報・印刷・食料品関連が、須高地区・千曲市・坂城町では機械・金属・食料品関連が、それぞれ集積しています。
- ・事業所数及び従業者数は、全県の20%強のシェアで10広域中1位であるが、製造品出荷額等は全県の15.5%のシェアで、松本地域(同33.2%)に次ぐ2位となっています。
- ・平成20年後半からのリーマンショックによる世界的景気の後退により、平成21年の製品出荷額等は前年比77.1% (全県75.2%)と急激に落ち込んでいます。

管内事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移
(従業員4人以上の事業所)

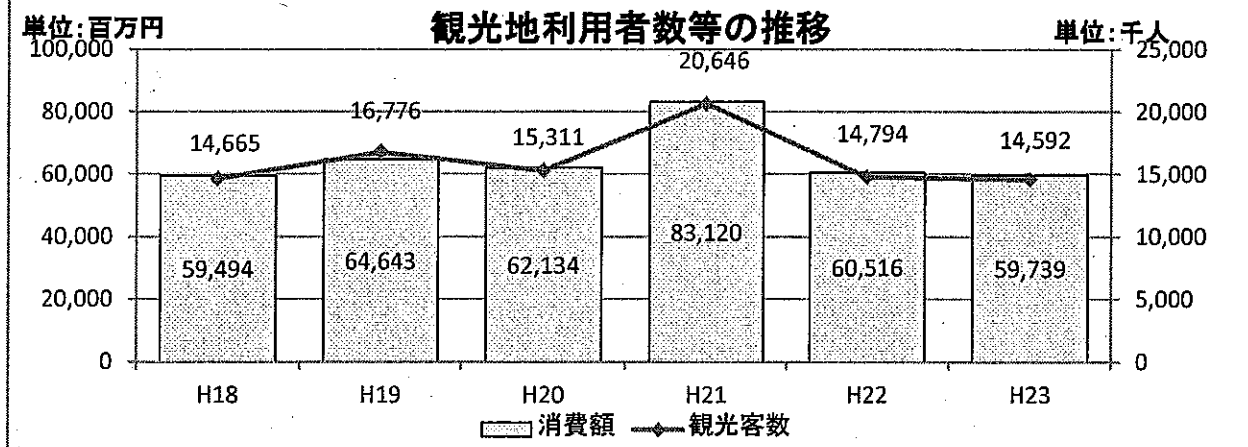


資料：長野県工業統計調査

【観光】

- ・幅広い観光資源を有し、一年を通じて多くの観光客が訪れています。
- ・県内有数の観光地である善光寺御開帳の集客力が大きい。
- ・管内の観光地利用者数は例年15,000千人前後で推移しているが、善光寺御開帳が行われた平成21年は通常の年よりも大きく伸びています。
- ・近年、戸隠高原や小布施町の観光地としての認知度が全国的に高くなっています。

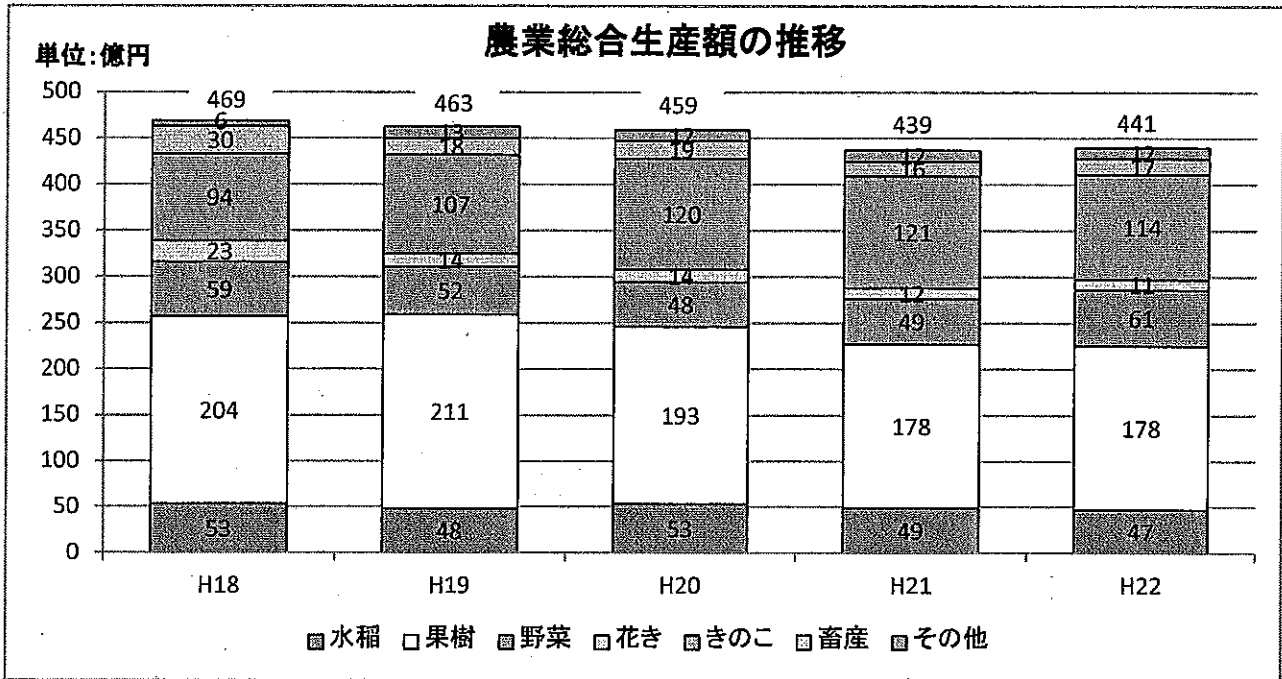
観光地利用者数等の推移



資料：観光地利用者統計調査(長野県観光部)

【農業】

・善光寺平や北東部を中心に果樹栽培が盛んで高い生産性を誇っています。また、きのこ、水稲などの栽培も盛んですが、総合生産額は減少傾向にあります。

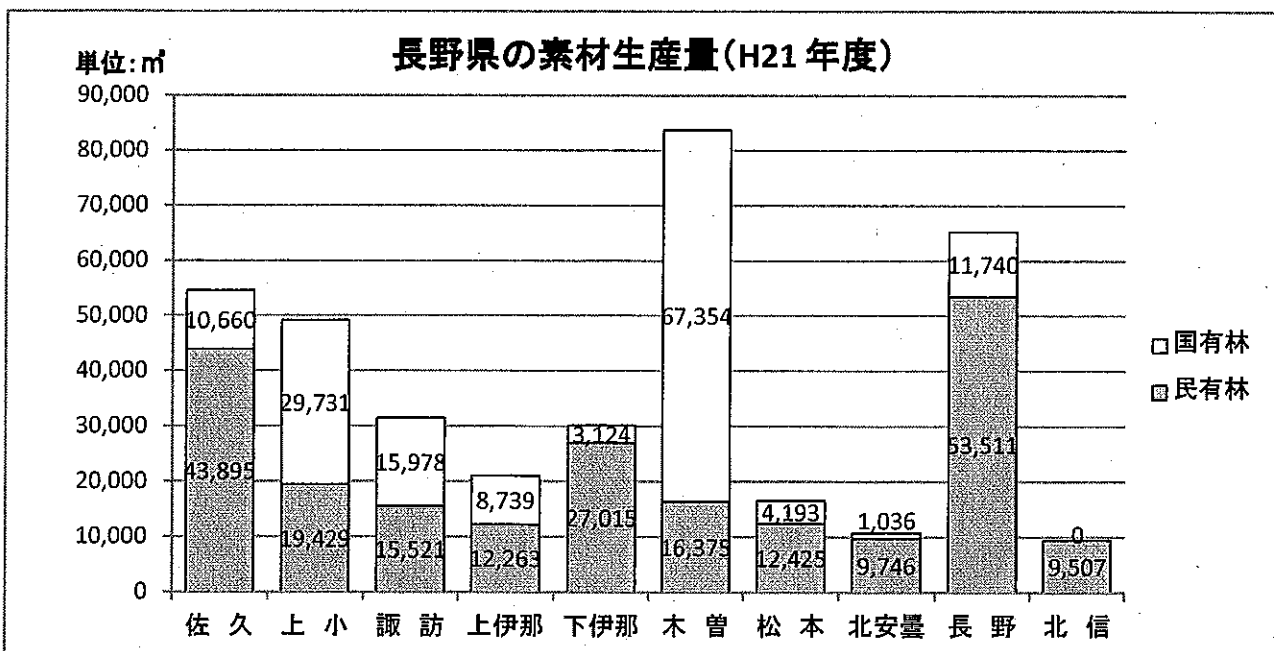


資料: 長野地方事務所農政課

【林業】

・長野管内の素材生産量は、私有林が53千 m^3 、国有林が12千 m^3 で、合わせて65千 m^3 となっています。平成21年度の私有林の素材生産量は県内トップとなっています。

・管内の林業事業者では、効率的な木材の搬出に必要な高性能林業機械の導入を進めており、県下でもトップクラスの素材生産能力を有しています。



資料: 長野県林務部「木材流通調査」